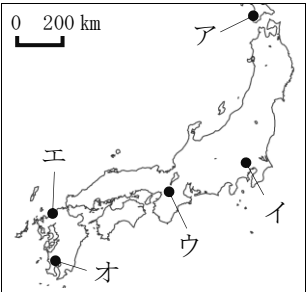


問1 次の各資料を見て、あとの1～9の問いに答えなさい。

資料Ⅰ 梅子さんが讃岐の歴史を語る上で注目した人物（並びは時代順）

A 武穀王 ①『古事記』に記された悪魚退治の伝説に登場する。叔父も②役人として活躍した。	B 空海 ③都で学業に励んでいたが、④仏教に深く信心し、 X の長安に留学した。	C 宮本佐渡守 塩飽諸島の軍船の指揮官。塩飽の水夫は、⑤豊臣秀吉から⑥貿易を許可されていた。	D ⑦松平頼重 徳川家光の命令によって高松藩の初代藩主となる。ため池などを多く造った。
---	---	---	--

資料Ⅱ 日本地図の一部



資料Ⅲ 豊臣秀吉の略歴

年代	主なできごと
1560	桶狭間の戦いに参加する
1567	稲葉山城の戦いで活躍する
1570	姉川の戦いが始まる
1575	長篠の戦いが始まる
1582	山城国で ア を行う
1588	刀狩令を出す

資料Ⅳ 香川県出身の役人

渋沢栄一の双壁とされた中野武宮は、政府の役人として山形県、佐賀県などで地租改正を担当した。後に、愛媛県から讃岐地方を香川県として独立させる分県運動の中心として活躍し、「香川県独立の父」と呼ばれる。
--

- 資料Ⅰ中の X 内にあてはまる最も適当な中国の王朝名を書け。
- 資料Ⅰ中の下線部①と同時期に書かれた、地方の国ごとに地理や産物などを記録した地理書は何と呼ばれるか。その呼び名を書け。
- 資料Ⅱ中のア～オのうち、資料Ⅰ中の下線部②を派遣した大和朝廷があった場所はどれか。一つ選んで、その記号を書け。
- 律令で定められた税のうち、資料Ⅰ中の下線部③で労働するか、代わりに布を納めるかの、いずれかを課せられるものは何と呼ばれるか。その呼び名を書け。
- 資料Ⅰ中の下線部④に関する次のア～エのできごとが、年代の古い順に左から右に並ぶように、記号ア～エを用いて書け。

ア 強い力をもつ仏教勢力を武力で従わせ、一方でキリスト教が保護された

イ 豪族の中には仏教を取り入れる者も現れ始め、法隆寺や四天王寺などが建てられた

ウ 災害や疫病が流行したために、都に東大寺、国ごとに国分寺が建てられた

エ 武士同士の争いが絶えなかった頃、合戦で亡くなった人を弔うために中尊寺が建てられた

- 資料Ⅰ中の下線部⑤について述べようとした次の文中と資料Ⅲ中の ア 内に共通してあてはまる最も適当な言葉を書け。また、 イ 内にあてはまる内容を 農耕 身分 の二つの言葉を用いて、簡単に書け。

戦国大名が領土争いをする中で、豊臣秀吉は平定した領地で ア を行い、土地の広さやよしあしを調査して年貢の量を明確にした。また、この後出した刀狩令によって イ を明らかにした。

- 資料Ⅰ中の下線部⑥のうち、下線部⑤も勧めたスペイン人やポルトガル人によって鉄砲などが日本にもたらされた貿易は何と呼ばれるか。その呼び名を書け。

- 資料Ⅰ中の下線部⑦について、次の文中の三つの[]内にあてはまる言葉を、㊦、㊧から一つ、㊨、㊩から一つ、㊪、㊫から一つ、それぞれ選んで、その記号を書け。

下線部⑦は、将軍の親戚にあたる〔㊦親藩 ㊧譜代大名〕であった。徳川家光が定めた参勤交代では江戸と京を結ぶ〔㊨奥州街道 ㊩東海道〕を通して上京した。参勤交代やお手伝い普請と呼ばれる〔㊪土木工事 ㊫年貢の納入〕は諸大名にとって大きな負担であったが、周辺の街道は発展した。

- 資料Ⅰ中のA～Dを用いて示した次のア～エのうち、資料Ⅳの人物が活躍した時期として最も適当なものはどれか。一つ選んで、その記号を書け。

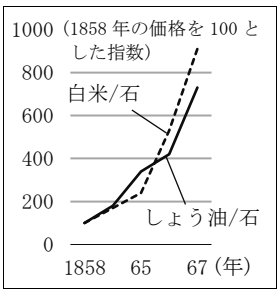
ア AとBの間 イ BとCの間 ウ CとDの間 エ Dの後

問2 次の各資料を見て、あとの1～7の問いに答えなさい。

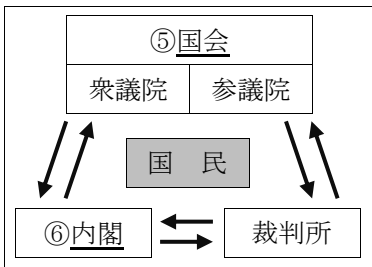
資料Ⅰ 政治や憲法制定に関する年表

年代	主なできごと
1867	明治天皇の名で X が制定される
1872	①富岡で官営工場が生産を開始する
1874	②国会開設の要望書が提出される
1889	大日本帝国憲法が発布される
1946	③日本国憲法が発布される
1967	④非核三原則が表明される

資料Ⅱ 物価の推移



資料Ⅲ 三権の関係



- 資料Ⅰ中の X 内にあてはまる、明治政府による政治の基本方針は何と呼ばれるか。その呼び名を書け。また、当時の経済について述べようとした次の文中の ア 内にあてはまる数字を、整数で書け。そして、 イ 内にあてはまる内容を 税 という言葉を用いて、簡単に書け。

1867年のしょう油の価格を1858年の価格と比較すると約 ア 倍に上昇した。物価上昇による民衆の生活の不満だけでなく、当時アメリカとの貿易において輸入品に イ などの課題があった。

- 次のア～オのうち、資料Ⅰ中の下線部①で作られた日本の輸出品を一つ選び、その記号を書け。

ア ガラス イ 生糸 ウ セメント エ 鉄 オ 綿糸

- 当時の人々が資料Ⅰ中の下線部②を政府に求めた背景を 士族 重要な役職 という二つの言葉を用いて、簡単に書け。

- 次のア～エのうち、資料Ⅰ中の下線部③に示された三つの原則の一つである国民主権の具体例として適当なものはどれか。二つ選んで、その記号を書け。

ア 憲法改正の際には国民が投票する イ 子どもに教育を受けさせる

ウ 最高裁判所の裁判官の適正を判断する エ 内閣総理大臣をその職から解任する

- 資料Ⅰ中の下線部④の内容を、解答欄の言葉に続けて書け。

- 資料Ⅲで示される、国の重要な役割を分担する仕組みは何と呼ばれるか。その呼び名を書け。

- 次のア～カのうち、資料Ⅲ中の下線部⑤、⑥の役割はどれか。それぞれ一つずつ選んで、その記号を書け。

ア 外国の大使のもてなし

イ 憲法改正の発議

ウ 国会の召集

エ 衆議院解散の決定

オ 法律の公布

カ 予算の議決

問3 次の各資料を見て、あとの1～6の問いに答えなさい。

資料Ⅰ 東経135度以西の日本

資料Ⅱ 資料Ⅰ中の3都市のご当地キャラクター

	キャラクター	説明
今治市	パリエさん A: 橋の形の王冠 B: 船の形の財布 C: タオル生地 の腹巻 D: 焼き鳥の街	Aの① <u>来島海峡大橋</u> などで本州と結ぶ。B、Cの② <u>造船業</u> 、タオル産業が盛ん。Dとしても有名。
別府市	べっぴょん 湯煙をイメージした前髪と耳 ※源泉総数、総湧出量日本一	温泉の街。昨年の③ <u>宿泊客数</u> は前年比7.4%増。日本人日帰り客の1人あたり消費額は121.8%増。
南九州市	お茶むらい E: お茶のちょんまげ(茶んまげ) F: 「ひまわり」の茶んピョンベルト	日本一の④ <u>お茶</u> の生産量を誇る。日当たりと水はけのよさを生かしたFのひまわり栽培も盛ん。

資料Ⅲ 資料Ⅰ中の別府市への発地別宿泊客割合（％，2024年）

北海道・東北	関東	中部	近畿	中四国	福岡県	大分県	その他九州	韓国	その他外国	合計
1.6	14.7	4.0	8.3	8.7	23.4	11.5	14.8	5.0	8.1	100.0

- 1 資料Ⅰ中のXの島の呼び名を書け。また、Xを不法に占領している国はどこか。その国名を書け。

2 資料Ⅰ中のYの地域で行われる、食べられる大きさになるまで、いけすなどで飼育する漁業は何と呼ばれるか。その呼び名を書け。

3 資料Ⅰ中の今治市について、次のa、bの問いに答えよ。

a 資料Ⅱ中の下線部①をはじめとする本州四国連絡橋の開通によって生活の利便性が向上した一方、悪影響も生じている。その内容を **減少** **自動車** の二つの言葉を用いて、簡単に書け。

b 次のア～エのうち、今治市で資料Ⅱ中の下線部②が発展した理由を述べたものとして正しいものはどれか。二つ選んで、その記号を書け。

ア 古代から海上交通の重要な地域だから

イ 波が荒く、試運転に適した地域だから

ウ 複雑な海岸線が多く、入江も深いから

エ 豊富な降水量が確保できるから

4 資料Ⅰ中の別府市について、次のa、bの問いに答えよ。

a 資料Ⅱ中の下線部③について述べようとした次の文中の「ア」内にあてはまる最も適当な数字を整数で書け。また、「イ」内にあてはまる内容を **整備** という言葉を用いて、簡単に書け。

資料Ⅲから、別府市を訪れた人々の約「ア」%が九州地方に暮らす人々であることが分かる。特に福岡県内からの宿泊客が多い理由は、資料Ⅰから「イ」ためではないかと考えられる。

b 資料Ⅲをもとに、解答欄の地方別割合を示した円グラフを完成させよ。

- 5 資料Ⅰ中の南九州市について、資料Ⅱ中の下線部④は、火山の噴火により堆積された土壌で育つ。次のア～エのうち、火山活動の対策例として適当なものはどれか。二つ選んで、その記号を書け。
- ア 浸水深を示す看板の設置

イ 外気に触れる電化製品の保護

ウ 避難壕（退避壕）の造設

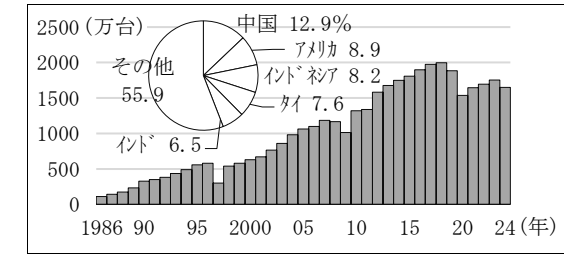
エ 土のうなどの資材の備蓄
- 6 資料Ⅰ中の那覇市について述べた次の文中の二つの〔 〕内にあてはまる数字や言葉を、㉞、㉟から一つ、㊱、㊲から一つ、それぞれ選んで、その記号を書け。また、「カ」内にあてはまる内容を **島の形** **河川** の二つの言葉を用いて、簡単に書け。
- 那覇市は、年間2161mmと高松の〔㉞2 ㉟4〕倍の降水量があるが、古くから水不足に悩まされてきた。香東川付近などに〔㊱三角州 ㊲扇状地〕が広がる高松はため池によってこれを解消してきたが、那覇市のある本島は「カ」ため解消できず、貯水タンクを設置するなどして対策してきた。

問4 次の各資料を見て、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料Ⅰ 日本の貿易額上位3港の主要輸出入品目と輸出入額それぞれに占める割合（％，2022年）

貿易港	貿易額 (兆円)	輸出		輸入					
		1位	2位	1位		2位			
X	36.0	半導体等製造装置	9.4	金(非貨幣用)	8.2	通信機	17.9	① <u>コンピュータ</u>	13.1
Y	22.9	半導体等製造装置	6.8	プラスチック	5.0	衣類	7.5	コンピュータ	5.4
Z	21.4	② <u>自動車</u>	24.2	自動車部品	15.3	③ <u>液化天然ガス</u>	9.8	④ <u>原油</u>	8.6

資料Ⅱ 四輪車海外生産台数の推移と工場が建てられた国の割合（2024年）



- 3 資料Ⅰ中の下線部②について述べた次の文中の三つの〔 〕内にあてはまる数字や言葉を、㉞、㉟から一つ、㊱、㊲から一つ、㊳、㊴から一つ、それぞれ選んで、その記号を書け。
- 下線部②は、今から約〔㉞20 ㉟30〕年前に海外生産500万台を突破したことが資料Ⅱから分かる。特に現地生産工場数上位5か国のうち、〔㊱20 ㊲35〕%がアジアの国である。これにより、日本車が売れることによる現地の〔㊳失業者増 ㊴車両価格高騰〕を解消している。
- 4 資料Ⅰ中の下線部③、④について、次のa、bの問いに答えよ。
- a 次のア～エのうち、下線部③、④を日本が最も多く輸入している相手国はどこか。それぞれ一つずつ選んで、その記号を書け。

ア オーストラリア

イ カナダ

ウ サウジアラビア

エ ブラジル

オ ロシア

b 下線部③、④の輸入に頼らずに、利用しても長期的に繰り返し使えるエネルギーは何と呼ばれるか。その呼び名を書け。